

第35回旭川市民劇場賞は、
劇団チョコレートケーキ
『一九一一年』に決定、総会で発表されました。

会員証の投票用紙でお寄せいただいた、旭川市民劇場賞推薦作品の感想や1年間の例会の感想をご紹介します。

2021 私の市民劇場賞

2月例会 劇団文化座
「しゃぼん玉」

●一年間の例会も早くも最終会と成り楽しませて頂くことが出来有りがとうございました。私の推薦は「しゃぼん玉」でした。愛を求めている淋しさをかかえている若者と、孫の様に可愛がりたいスマ。二人の暮らしは一人では生きられない人と人が支えあえる心の様がとても伝わって来て現代人にとって大切な事を教えてくれた様です。



●コロナの中ですので、おそるおそるの見学でしたが、演技者の方々のひたむきに演じてくれる姿は、とても心を動かされました。会場でお世話が当たるスタッフの皆様もありがとうございます。

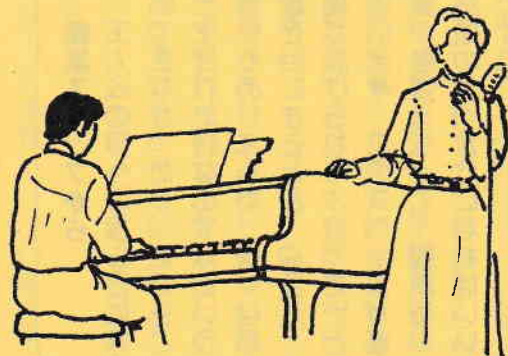


4月例会 加藤健一事務所
「ドレッサー」

●6回観られたことに感謝しています。

6月例会 エイコーン
「松井須磨子」

●全部を観ることが出来ず残念！次年度は皆勤賞目指すつもりです。6月例会の美しい立ち姿、声、もう一度とも思っています。一年間ご苦労様でした。
●栗原小巻さんの歌、演技、所作のステキさは、ずばぬけて素晴らしかったです。また、観たいです。



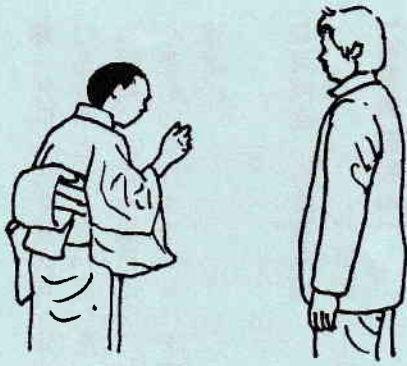
8月例会

劇団チヨコレートケーキ

「一九二一年」

●まさに今（あの時）観ておくべき作品でした。こんな作品に巡り会えるのが市民劇場の醍醐味ですね!!

●日常では触れることもない内容がとても新鮮で、こんなにぐいぐい引き込まれた舞台は入会して初めてでした。皆さんの名演技に感動しました!!そんな自分を発見できて驚きました。ありがとうございます!



●社会問題を作品の中でも特に重く、骨太な作品でとても強く心に残りました。また、この作者の作品を観たいと思います。

●会員にさせていただきありがとうございます。

●これは現代の事だ。暗い。でも「井上ひさし」の言葉も思いました。「むずかしい事をやさしく、やさしい事を深く、

深い事をゆかいに、ゆかいな事を真面目に」。暗く重い事実が、軽快に、でも真面目に伝えられた。感動の時間でした。

●事務局、運営委員の方々いつもいつもありがとうございます。大変感謝しております。

●演じている方達の熱と、観ている側の熱両方が必要だと、ひしひしと感じました。コロナか……。

●久々にお芝居らしいお芝居を見ることが出来ました。ありがとうございます。

●ひとりひとりしっかりと演じている。

●これは一〇年前の話ではなく、今日の前にある現実だと思ふ。民主主義、自由があるというのが、本当にそんな社会なんだろうか今の日本。私たちが問われている!

●芝居らしい芝居でした。

●6月例会から観ています。

●「一九二一年」にはすごい衝撃を受けました。これに感化されて、寂聴さんの伊藤野枝と大杉栄の小説を読んでいます。

●大正時代の女性活動家は、みんなかっこいいです。

●8月例会「一九二一年」今まで観た全ての中で一番でした。

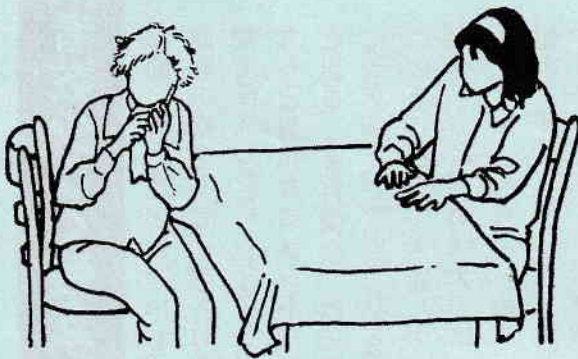
●一九二一年について市民劇場会員でよかった。とにかく感動しました。舞台の中にいる様に泣き、震え、心が跳ねまわっていました。そして、人の恐ろしさを見せつけられま

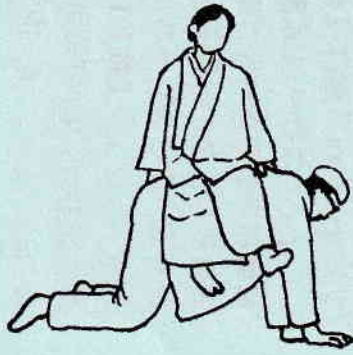
した。気づくとこぶしを握っている私がいきました。

10月例会 プレオム劇

「脚光を浴びない女」

●スピーディな俳優たちの動き、特に石川秀子役の小林美江さんの動きとコミカルなしゃべり口が好印象であった。コロナ下で久しぶりになつかしい時代を思い起こした。





- 一年間心の栄養の糧を本当にありがとうございました。
- お陰様でコロナ禍をどうにか心豊かに乗り切っております。感謝。
- 12月例会 俳優座劇場 プロデュース
- 「音楽劇母さん」
- コロナであまり観られず残念でした。
- 歌の存在理由(?)のようなものを考えさせられた。
- 今回、入会させていただき初めて観劇しました。やっぱり舞台はいいですね。

第35回 旭川市民劇場賞 投票結果

例会月	例会名	会員数	参加率	観劇会員数	得票数	得票率	感想記入数
2月	しゃぼん玉	1020名	72%	734名	48票	6.5%	2
4月	ドレッサー	1030名	72%	741名	13票	1.7%	1
6月	松井須磨子	1019名	76%	774名	52票	6.7%	2
8月	一九一一年	1023名	48%	491名	93票	18.9%	14
10月	脚光を浴びない女	1017名	69%	701名	40票	5.7%	2
12月	音楽劇母さん	1024名	73%	747名	118票	15.7%	6

投票総数 367票 投票率 35.8% 該当なし・白票が3票あり。

(例会)参加率=(例会)もぎり数÷(例会)会員数

観劇会員数=会員数×参加率 得票率=得票数÷(例会)観劇会員数

【出所】旭川市民劇場第51回総会討議資料■2021年の組織動態表及び第35回旭川市民劇場賞選考結果より抜粋・加筆。

評価高いが、観劇者数少なく残念

- ハチローをもっと知りたくなりました。
- 最後の「ちいさい母のうた」で思わず涙が頬を伝いました。母に感謝です。
- しみじみたのしい。

第35回旭川市民劇場賞は、8月例会「一九一一年」に決まった。得票数では12月例会「音楽劇母さん」の一一八票に対し、九十三票。それなのになぜ？ 得票率(上記)では「12月例会」を上回る。ここでいう「得票率」とは同じ芝居を見た会員が、どのくらいの割合で受賞作品としてふさわしいと判断したかということ。要するに「同じ土俵」で比べたもの。もう一つの指標は、この「投票用紙」裏面の「感想記入数」。本特集のコメントだ。総数は決して多くないが、三ヶ月以上も前に観た芝居について、終演後の帰宅を急ぐ限られた時間で記入したことを考えると、なんと貴重なコメントなのかと思う。「8月例会」は圧倒的に数が多く、その内容も熱い。このような点を考慮して「幹事会」では、劇団チヨコレイトキー「一九一一年」に軍配を上げたのだろう。「参加率」は例年、出演者の知名度や関心の高さなどにより差がある。しかし、コロナ禍のこの二年は芝居に関係なく、感染状況の悪化で大きく落ち込んでいる。これほど観劇した会員が高く評価した芝居が、一番参加率が低いというのはなんとこの皮肉か。何はともあれ、6本の例会を公演出来たことに感謝しながら、今は、心して芝居を味わい尽くしたい。